

3 群馬銀行グループの価値創造ストーリー

群馬銀行グループの価値創造プロセス

マテリアリティ パーパス実現に向けた重点課題

地域経済の持続的発展

人口減少・少子高齢化への対応

DXへの対応

地球環境の保全と創造

人的資本の充実

確固たるガバナンスの構築

インプット

強み ▶ P.28、30

財務資本 2025年3月末現在

預金残高 8兆4,629億円
貸出金残高 6兆8,451億円
連結総自己資本比率 13.12%

人的資本

従業員数（連結） 2,927人
女性管理職比率 21.2%
専門資格保有者数※1 294人
中途採用比率 23.3%

※1 中小企業診断士、FP1級、証券アナリスト、公認AMLスペシャリスト、高度情報処理技術者等の保有者の合計

知的資本

グループ総合力 9社

社会関係資本

国内店舗数 160店舗
国外拠点数 1店舗3駐在員事務所
預金シェア※1 38.3%
貸出金シェア※1 34.6%
メインバンクシェア※2 45.29%

※1 2024年3月末／金融ジャーナル増刊号「金融マップ」2025版より
※2 帝国データバンク「群馬県内企業『メインバンク』動向調査（2024）」より

自然資本

森林面積※1 42万7千ha（関東地方1位）
観光資源（温泉地）※2 97か所（関東地方1位）

※1 「ぐんまの森林・林業」（群馬県）より
※2 環境省「温泉に関するデータ」より

群馬銀行グループは、パーパスを基軸とした事業活動を通じて、お客さま・地域社会、株主・投資家、従業員など、各ステークホルダーの皆さまへ価値を提供し、持続可能な社会の実現と経済的価値の創造に努めています。

創造される価値は、当行グループが活用する資本を増強し、当行グループの企業価値を高め、さらなる価値の創造へとつながります。

アクティビティ 中期経営計画 「Growth with “Purpose”」

基本方針Ⅰ 社会的価値・経済的価値の 好循環の構築

戦略テーマ①

“パーパス営業”の深化

前中計から取り組んできた
“パーパス営業”
（社会的価値と経済的価値の両立）
を深化させる

【社会的価値】

【経済的価値】

戦略テーマ②

サステナブルな 地域経済圏構築への挑戦

中長期的な目線で
地域課題の解決に資する
取り組みを促進し、
収益の拡大につなげていく

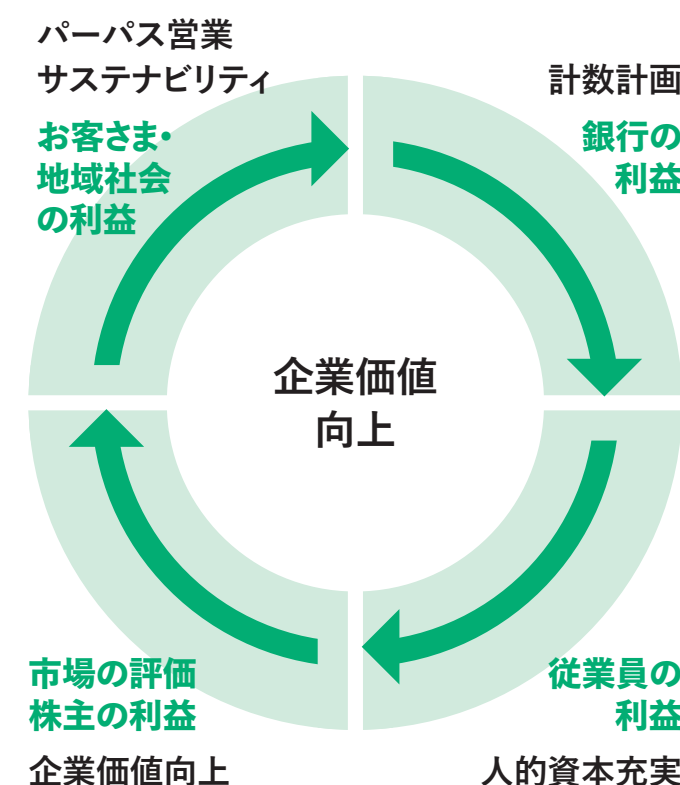
+

基本方針Ⅱ 持続的な成長を支える 事業基盤の強化

戦略テーマ

- ①DX・業務改革
- ②データ利活用
- ③人的資本
- ④RORA経営
- ⑤ガバナンス
- ⑥グループ連携・外部連携

アウトカム



地域社会と当行グループの
持続的成長へ
「目指す姿」

パーパスの実現へ